

議事録	作 成 日	令和3年11月17日(水)		
	作 成 者	大峽 恵理子		
会議名	放送番組審議会			
開催日時	令和3年11月17日(水)	12:15～13:15	開催場所	佐久ケーブルテレビ(株) スタジオ
参加者	放送番組審議会委員 秋山会長・廣末副会長・加藤委員・依田委員・鈴木委員		佐久ケーブルテレビ 細井社長・佐藤常務・小泉技術部長 番組制作課:佐藤課長・藤澤主任・久保・中澤・荻原・大峽	
次 第	1 開会 2 社長あいさつ 3 自己紹介 4 会議事項 (1)佐久ケーブルテレビの番組紹介について (2)前回、令和3年2月開催時に頂いた意見内容の進捗について 5 閉会			

内 容
<p>1. 開会 委員7名中4名の出席があり、本審議会が成立することの報告。</p> <p>2. 細井社長より挨拶があった。</p> <p>3. 会議参加者の自己紹介があった。</p> <p>4. 秋山会長の進行で会議事項へ移った。 (1)佐久ケーブルテレビの番組紹介について ※上期のSAKU いちから、下記をピックアップして放送・説明 ・時短として取り組んだ取材スタイルの紹介、(いなごとり集会、稲刈りの模様) ・台風18号被害から2年後(入沢と常和紹介) ・Today'sピックアップ リモート接続例の紹介 など</p> <p>【鈴木委員】 2年前の台風災害で、入沢へボランティアに行ったが、それ以来行っていないので、映像を通して入沢地区がどうなっているか知ることができてよかった。一步一步進んでるのでよかったという気持ちと、まだまだ課題があるということが分かった。 これが、映像メディアの役割であり、視覚で一発で心に訴えてくるのはいい映像だなと思った。ナレーションも、同録の方が生き生きしていいと思う。 また、子どもたちの生き生きした映像はとても良い。</p>

内 容

【加藤委員】

テレビに映る人は単純にいいなと思う。災害を受けた人たちも、簡単な災害でも、実は、大変だったりする。私は、佐久穂の大日向、床上浸水だった。誰の助けも受けず、町などの補助もなく、映像に映ることもない。常和の人もそういう部分もあると思うので、もっと(取材に行っ、声やエピソードなどを)拾えばもっと伝わるのではないかな。

【廣末委員】

ニュースの撮り方が変わったというのは感じている。女子アナが出演してしゃべるのはとてもいい。親しみも沸き、わかりやすく、映像もきれいでいいと思う。

たとえば、ぴんころ(野沢山門市のハロウィンイベント)は、キャスター自身で写真を撮り、取材に行くのはいい。市長がツイッターで上げていて気になっていた若者(野沢北高校出身シンガー)に関しても、ちゃんと取り上げて、リモートでつないだのを見て、これこそケーブルテレビだと思った。

キャスターたちの実力がついてくると、(できることが増えていくので)いいと思ってみている。リモートを使うというのもいい。手話通訳も画面で出してよかった。イベントの情報(行事予定テロップ)も、見た目ビジュアルがおしゃれでセンス良くなってきていい。全員がきれいな映像を作れるようになったんだと思ってみている。

ただ、ひとつを作りこむと、ニュースの本数が少なくなってくるので、ケーブルだからこそ、たくさんニュースを扱うことも必要。作りこむことも必要、たくさん扱うことも必要。いる人員で、時間を割いていかななくてはいけない。(課題)

HPは見やすくなった。

スcoop動画など、投稿できるページを作って、市民に投稿してもらおうところを作ることが必要になるのではないかな。Youtube にあげるよりも、テレビで紹介してもらえる特別感がこれから大切になってもらえるのではないかな。そういう仕組みを作ればいい。

毎日、一日おきとか、仕組みを考えて、よりたくさんの方がかかわれるケーブルテレビになるのではと思った。(全体を通して)頑張ってると思ってしていました。

災害情報を知りたいので、ケーブルテレビに入ったという人いる。川の水位情報などを見たい人もいるから、その情報も必要だと思った。

【依田委員】

社長の挨拶にもあったように、テレビ放送は社会的影響力が大きい。偏った取材になってしまうと良くない。難しいところだと思うが、偏らず、取材していくことが必要。

取材してもらうのは、ケーブルテレビの一番のいいところだと思うのでいい。

取材をするにあたって、何を目的に取材するか方向性がないと、ずれてしまうので、なぜ取材に行っているか考えて取材してほしい。

災害に関して。日々変わっていく。記録していくのもケーブルの仕事。

定点カメラでもいいので、その経過が分かるといい。

あつという間が変わってしまうので、もっときめ細やかに。

ドローンを活用して、定点で飛ばして、記録していくことも役割。

アーカイブの必要性。定期的に足を運ぶことが必要。

レポーターのマスクの取り扱いをどうするか。

経済活動を進めていくにあたって、一人でしゃべっているときは、マスクは、そろそろ、方向性として、ケーブルテレビ

内 容

として、どうしていくか、決めていければいいと思う。

【秋山委員長】

今の段階で、マスクについてはどうなっているのか。

【細井社長】

密集密着でなければ、外すようにしている。

スタジオでも外すようになってきている。見ている方の印象も違うので、今後検討する。

【秋山委員長】

現場での喋りの力というのは、大きい。熱量が伝わる。入沢で涙ぐんだ人の話もそうだが、現場でとるからいい。

感情もしっかり入り、映像としても力強いので、この手法(現場でしゃべる)はいいのではないかと思う。スタジオでない
とできないこともあると思うが、レポート形式で現場に行くと細かいことも見えてくるので、この手法はいいと思った。

(いなごとり、田植えなど)

災害現場などは、現実味があるので、(映像を見ると)気をつけなきゃいけないという気持ちにもなる。

【加藤委員】

(ケーブルテレビの社員と市民が)顔なじみになっていくといい、という話があったが、局内で素晴らしいニュースがあった。例えば、局の中で 2 人が結婚したり、久保アナがミスコンに出場したり。これをもっと取り上げるのいいのではないか。

提案として、一つの報道のその先、という報道が少ない。

ひとつ大問題があり、それを番組にしてほしい。

佐久創造館閉鎖問題。県から一方的に報告があり、利用者 10 月、会議 11 月、説明があったが、2 年後に閉鎖に承
知してください、という一方的なものだった。

存続の会を立ち上げて、県、市長のところへ行こうとしているところ。

このように、佐久広域での話題はあるが、長期になるので、結果が出るまで、取材を続けてもらえると嬉しいという願
望がある。

【廣末委員】

「SAKU いち」以外の番組について再放送が多すぎる。そろそろ新しいことをやるべき。

特番を作ったり、野鳥図鑑、星のふるさとをまとめてシリーズにしたり、(1 回だともったいない)手間がかからないか
ら、昔のものを再放送するのではなく、コーナーごとにまとめて再放送するのはどうか。

「SAKU いち」で大事ニュースを、報道特番としてとりあげるなど、SAKU いち以外をてこ入れしないといけない時に
来ているのでは。

小諸ケーブルテレビで放送している、学校紹介のコーナーを、学校から映像を送ってもって実現してみてもどうか。

ホームページから送ってもらうなどの手法を使ってもいいのではないか。

ドローンシリーズ、食レポシリーズ(テイクアウトシリーズ)をまとめて放送してもいいのではないか。

(2) 前回、令和 3 年 2 月開催時に頂いた意見内容の進捗について

【加藤委員】

(公民館学習グループコーナー)電話のやり取りは難しいのでは？

趣味の世界で頑張っている人にゲストとして登場してもらってはどうか？

花、鳥シリーズを幅を広げていってはどうか？

内 容

【佐藤課長】

趣味として楽しんでいる方もいるということについて。ひょうたんを作っている方のところへ取材に行った。義理のお父様から受け継いだヒョウタンに絵をつけている。他にも、絵手紙など、ある時を境に趣味を超えてセミプロのように活動している方を取材。

【廣末委員】

音広場は、やれることはまだまだある。その中で、今までとは視点が変わったことがあって良い。公民館学習グループは、リレー形式でつないでみてはどうか。音広場も、友達つながりで、リレーできればいいのではないか。移住してきたかたが、クラシックの楽器同士が集まって、演奏団体を作った。

※音広場サックポラーノの映像観る。

今までの音広場と違うのは、今までは建物の中だったけど、秋に屋外で演奏することにより、時期がわかる。他にも、表に出ている方だけじゃなくて、頑張っている人がもっというんじゃないか。まだまだこれからですが、少しずつ変わっているのではないか。

【佐藤課長】

公民館学習グループ紹介コーナーは、単純に紹介するだけでなく、その先が見えてきた。テレビに出たことがきっかけとなり、代表の方と接点を持つことができ、それをきっかけに、作品を作っている人に作品をお借りして、スタジオセットにすることも可能になる。写真撮ってる人の写真を番組で紹介することもお願いすることもできるのでは。はじめはコロナ救済から始まったコーナーだが、これから、新しくできるのではないか。進展していないところもあるので、皆さんのご意見をいただいて、より良い番組を作っていきたいと考えている。

※前回、議事の半分を占めていた、防災チャンネル。

【小泉部長】

インターチェンジのカメラを設置する、など、試行錯誤を進めている。より使いやすいようにしていきたいと思っている。これに対しての意見をお願いします。

【佐藤課長】

依田委員から、頂いた意見に対して、今は、一方通行ですが、双方向になっていくといい。情報表示の仕方が、何を表示しているのかわからないという意見もある。放送していることに意義があるということもある。今後より良い番組にしていきたいと思う。Dボタンからもっと深いところに入っていけるようになるといい。

【小泉部長】

今後の技術。ハイブリットキャスト。テレビで放送、ネットで受信。データ放送の進化版、導入を考えている。

【細井社長】

内 容

テレビは一方通行だが、それとは違い、スマホの時代、それぞれ見たいものが違う。リクエストをした人が見れるようになる。先ほどの意見であったように高速道路インターチェンジにカメラつけようとしている。テレビの環境からだと、双方向は難しいところもあるが、今は違う。

過去の素材テープが箱に詰められたままになっていて、この映像を、見せられないのが現状。5年前の議会、市町村合併の時の映像など。

【秋山委員長】

他に何かありますか。

【佐藤課長】

報告できることは以上です。

【依田委員】

テープは、火事になったらなくなってしまうのか？

【細井社長】

それらは、地域の宝物。データ化を進める。

【秋山委員長】

報告できない部分は、また後日報告。その他について。

紹介いただいた番組以外で、佐久ケーブルテレビに要望することはありますか。

【鈴木委員】

以前放送した、佐久市子ども未来館の20周年記念番組「サクモ開館20周年記念日 名誉館長 油井亀美也さんオンライン講演会」油井さんとなおやマン館長の対談は、興味深く楽しかったが、音が良くなかった。

カメラマイクから録ったものなのか？ニュースならいいが、長時間は厳しいと感じた。

選挙に関してはどうなっているか？

【細井社長】

地域の議員は報道するが、(衆議院議員などは)ケーブルの持ち分ではないと判断し、報道をしていない。

【鈴木委員】

選挙へ行きましょうということ是可以するのでしょうか？

【細井社長】

放送しています。

【鈴木委員】

投票呼びかけは、どんどんやってほしい。

【細井社長】

佐久ケーブルテレビを、視聴者参加型にしたい。投稿写真募集している。

他にも、正月向けとして、加藤委員に評価してもらって、書き初めはいかがか？

内 容

【加藤委員】

各学校、各書初め大会によって、紙の大きさが変わってきている。
半紙でもいいのでは？12月中に大峽さんの方で形にしていなければ。

【加藤委員】

あいとぴあで作品展開催。臨書展特別賞に司会も受けている。
今年は初めて、最高賞、天来賞、2名出た。取材していただければ。インタビューも可能。

【廣末委員】

ラインアカウントはどうなっているのか？Twitterは更新するようになった。ラインアカウントがあることをTwitterに乗せてください。

【秋山委員長】

ホームビデオと、ローカル局の間を埋めるのが、ケーブルテレビ。
そこを埋めるには、キャスターが現場に行って取材することはすごくいいこと。
いいカメラ(業務用)で撮影してもらえるのは嬉しいこと。
ホームビデオで撮影した日常を出してあげることは大切。
隣の親父さんとかが移ってもいい。
(プロがとったものと区別するため)投稿ビデオのL字もいいと思う。
普通のニュースは、キャスターが取材に行ったりしてもいいと思う。
いぬ、ねこなどのネタもいい。この良さが出せるのは、ケーブルテレビ。
イベント放送を、各区のイベントにぶつけるのもいいのではないかと。地元情報を放送することが必要。
公民館でケーブルテレビ入ったが、なかなか見る機会がない。
地区の行事など。そこで、運動会など流せば、少しでも目につくと思う。
(例えば)入沢区長さんから、リレーで各区長の地区の紹介などを取り上げられれば、面白い番組になるのでは。取り上げ方が増えれば、加入者も増えるのでは。

【加藤委員】

二宮金次郎って知っていますか？今、学校に石像がない。(歩きスマホにつながるから?)文部省唱歌のなかに、二宮金次郎の歌がある。面白くもっていくと、一つの番組になる。
旧中込学校は歴史のある学校だし、大事にしてほしい。

【事務局より】

次回の放送番組審議会は令和4年2月24日(木)12時より開催予定



